



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成25年5月14日(火)
第2630回 例会
(本年度第39回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(5/21)のメインプログラム

孟宗汁家族例会

次週(5/28)のメインプログラム

ゲストスピーチ
水戸屋開発(株) 取締役調理部長 相澤 善和 氏

会長挨拶

阿部純次君

当クラブメンバーであります、佐藤孝子さんの実のお母さんが5月8日(水)にご逝去なされました。家族葬ということでありましたので、5月12日(日)の葬儀には私が皆さんを代表して、参列させていただきご焼香とご冥福を祈ってまいりました。納骨は永代表供養先である長野の善光寺でということのようであります。

長野県は私の大好きな県のうちの一つで、長野市周辺と善光寺は何度も訪ねております。今回長野県へ行った最大の目的は、黒部ダムと白馬・安曇野周辺にまだ足を踏み入れたことがないので、一度は訪ねたいと思っていたのと、そして黒部ダム完成50周年ということもあり、長野側より「黒部ダム経由・大観峰展望台」へ行き、北アルプスを眺望したいという強い思いが前々よりあり、行って来た次第です。

信州地方は3日間とも快晴の天候に恵まれ、先ず5/3日の初日には、長野冬季オリンピックのジャンプ競技場となった白馬のジャンプ競技場を見学しました。札幌のジャンプ台とはまた違う壮大さに感激致しました。

そして宿泊地の大町温泉郷へ向かうさなかでの車中から望む、白馬岳・鹿島槍ヶ岳などの北アルプスの山脈に感動・感激し、途中で停車を繰り返しながらシャッターをきり写真を撮りまわりました。

翌日4日に今回長野県訪問の本命でありました、黒部アルペンルートを長野大町側からの扇沢よりトロリーバスに乗り込み、黒部ダム・黒部湖へ到着。黒部ダムの高さには高所恐怖症の自分は、足がすくみ続けでありますが、足を震わせ寒い気候の中、脇の下に冷汗をかきながらダムの下を眺めて参りました。壮大なダムであり下を覗くと目が眩む思いでした。自分の感覚の中では4月6日に東江戸川RCに行った時に上った東京スカイツリーより恐怖をおぼえた次第です。そして黒

部湖からはケーブルカーで黒部平へ上りつめました。黒部平駅よりは、展望ロープウェイに乗り大観峰へ到着いたしました。大観峰展望台より、北アルプスの山々を眺めるパノラマは本当に素晴らしい絶景でありました。まだまだ残雪の残る「頂(いただき)」と「真っ青な青空」そしてそれにアクセントをつけてくれる「雲々」との絶妙のバランスには、息を呑み絶句するような感動を覚えました。

幹事報告

西川 富美子 君

鶴岡・NB友好協会

○H25年度役員会並びに総会の開催について

①役員会

日時:5月20日(月)午後2時30分

会場:鶴岡市役所

②総会

日時:5月30日(月)午後6時

会場:グランドエルサン

会費:4,000円

米山奨学生の誇りを胸に

(公財)ロータリー米山記念奨学会学友 金 紅 蘭 さん

皆様、こんにちは。2800地区米山学友の金紅蘭と申します。米山奨学生に選ばれた2年間本当にお世話になりました。今日は日本留学の動機、現況報告、研究内容、2800地区米山学友(元米山奨学生)として目指しているもの等に対してスピーチしようと思っております。



1.日本留学の動機

私は中国吉林省延辺朝鮮族自治州の出身です。幼少

出席報告	会員数	41名
	出席	24名
	出席率	63.16%
	前回確定出席率	85.14%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

の時から日本のアニメ・ドラマだけでなく、SONY、PANASONICなどの日本のブランドにも関心を持っていました。その関心が日増しに強まり中学校の時から日本語を外国語と選んで勉強しています。そして、私は以前から経済学に格別の関心を持ち、中国の延辺大学で学部と修士課程は地域経済を主な研究分野として勉強して来ました。でも、偶然農村で現地調査を行う機会がありました。その時、農村に対して大きな魅力を感じ、農業にも関心を持つようになりました。幸運にも延辺大学農学院と研究交流がある山形大学農学部へ推薦され、山形大学農学部に入學しました。

2. 現況報告

今山形大学農学部の博士課程に在籍中で、小沢互教授と藤科智海准教授の指導の下に「中国の延辺地域における農地流動化の進展と土地利用型営農組織の展開」というテーマで研究を行っています。延辺地域の農家と土地利用型営農組織に対して調査を行っております。調査をもとに2本の論文を掲載し、ハイスpekで博士課程を修了することを目指して頑張っています。

現在、山大の寮で中国人のルームメイトと一緒に二人で暮らしをしています。

3. 研究内容

中国では請負制度の導入により農家は小規模零細経営を余儀なくされ、非農業部門との収入格差によって農民は非農業部門へ就業するようになりました。延辺地域は中国の中でも離農率が高い地域です。これは1992年の中韓国交樹立により韓国への出稼ぎが活発になり、中国国内の韓国企業への就職も可能になったからです。ここで得られる収入は高く、朝鮮族農家の農業生産意欲を低下させ、農地を貸し出す農家が多くなり、多くの農村労働力は離農しています。それにより、農家間の農地流動化が進んでいるが、口頭による契約が多く、契約期間も短く農地流動化は不安定な状況です。

この状況を改善するため、延辺地域は2008年から専業農場の設立を奨励し、農地流動の安定化と大規模経営を目指しています。農場の持続可能な経営のために、先進的あるいは将来性の高い専業農場に限る補助政策が必要であると考えられます。

4. 2800地区米山学友(元米山奨学生)として 目指しているもの

「米山奨学生」に選ばれたことは、私の考え方の「turning point」になって自分の夢だけ追っていた私に、ロータリーの奉仕の精神の影響で夢をもっと大きく持つようになりました。

今年度のRIテーマは「奉仕を通じて平和を」です。平和は、政府間の合意や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであることをロータリアンの皆様から習い

ました。

この間も尖閣諸島問題で対立が激しくなっています。私は、①両国メディア報道、②歴史問題に対しては客観性不足が問題を深刻化していると考えております。

①両国メディア報道…尖閣諸島(中国語で釣魚島)問題で対立が激しくなった時、日本のメディアでは中国の反日デモに対して重点的に報道していました。それによって中国に対して「親しみ感じない」と考える回答が80.6%で過去最高になりました。

中国でも反面報道が多いです。現在、同じ研究室勉強している後輩は、日本留学予定だったが、一時期留学を止めるところまで至りました。また、毎回調査の時感じるのですが、政府関連仕事をしている方は日本で留学していることを分かった後は、あまり協力をしがない気味があります。

それに比べ、親戚の中で日本に出稼ぎ経験がある農家は、日本に対して本当に友好的です。少なくない現実から離れた両国メディア報道で政治的な問題が民間まで及んでよくない影響を与えることに胸が痛みます。

②歴史問題に対しては客観性…尖閣諸島問題の対立に対して一番重要なのは歴史問題を客観的にみることだと思っております。日本に来る前は尖閣諸島は中国の固有の領土だと勉強しました。でも、日本の本とか報道で日本の固有領土になっています。両国で感情的でなく、客観性をもって冷静に問題を解決するしかないと思っております。

中国と日本が政治や歴史の問題を乗り越え、今より更に、互いに一人の人として目を向け合い、受け入れ合うようになればと思っております。

私はメディア報道でなく、両国での生活・文化を肌で感じた中国出身の元米山奨学生として、米山奨学生の誇りを胸に深く刻み込め、国境を越える「ロータリー精神」を身に付け、微力ながらも「奉仕のベクトル」で中国と日本の友好な輝く未来のため力を注いでいきたいと思っています。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

金 紅 蘭さん(ロータリー米山記念奨学会学友)

◎メイクされた方

本間 厚・本間喜美子・丸山隆志・佐藤孝子
富樫松夫

スマイル 😊

佐藤孝子さん 母の葬儀に阿部会長より出席して頂き香典を頂きました。お礼のスマイルさせていただきます。金さんスピーチありがとう。

阿部純次君 金紅蘭さん。ゲストスピーチありがとうございました。ロータリーマインドで今後ますますの活躍をお祈りしております。